

一 黄鬼くと菜の花

むかし、赤鬼くと青鬼くと黄鬼くんがいました。いいえ、今もいます。

赤鬼くと青鬼くんは、有名ですね。だって、たくさんのお話に登場するのは、いつだって赤鬼くと青鬼くんです。桃太郎にやつつけられたりする役が多いけど、近ごろは、やられ役にもファンがいる時代です。ですから、お休みの日なんかは、二人ともおしゃれをして町まで出かけ、女の子にキャーキャー言われて得意になることもできます。

問題なのは、黄鬼くんです。知りませんでしたか？本当は黄鬼くんも、赤鬼くんや青鬼くんといっしょに物語に出演しているのです。

でも、黄色は目立たないから、絵本でもテレビでも、いつも画面のすみっこ。いるのかいないのか、ほとんどわかりません。

（ああ、なんでぼくは黄色なんだろう？赤鬼くんや青鬼くんみたいな色なら、もっと強くて悪そうに見えるんだけど）

ある日のことです。黄鬼くんが散歩に出かけると、道端に黄色い菜の花畑がありました。

「まあ、きれい。あなたが咲かせたの？」

うしろから声をかけられて黄鬼くんがふりかえると、若い娘さんたちが三人、目をクリクリさせて黄鬼くんを見えています。

「ちがうよ、ぼくは・・・」

黄鬼くんがどきまぎししながら否定する前に、娘さんたちは「かーわいいっ」と言って笑い

ました。黄鬼くんは、はずかしくなりましたが、同時にうれしくもなりました。

「ぼくの色、とってもかわいいんだね！」

それからというもの、黄鬼くんは、菜の花を育てるようになりました。はじめは、自分の家の庭に。それから、住んでいる町のあちこちに。さらには、日本中のいたるところに。

（赤鬼くんや青鬼くんみたいにはなれないけど、ぼくにも、こんなことができるんだ）

今年も、もうじぎ春がやってきます。あなたの町に菜の花が咲いたら、それは、黄鬼くんのせいかもしれませんね。